アフリカ
福島正徳氏の「アフリカにおけるポルトガル人の影響」（海外事情史特集・新編アフリカ）は、旧ポルトガル領における武力闘争の背景を中心に、植民地支配史からポルトガル本邦との関係について概観している。中村真一氏の「ポルトガル在日歴史」（月刊アフリカ研究）にも、この研究が毎月発表されている。

『世界のアフリカ』編集部

アフリカ文明史
吉田昌夫編『アフリカの農業と土地保有』（アジア経済研究所）は、農業社会の変化を歴史的に追求し、ポルトガル人を契機としたアフリカ人の生活の諸変革を解説している。

『アフリカの文学』（アフリカ編集会）は、アフリカ文学についての研究を発表する機関誌の一つである。

アフリカ史の一著者である吉田昌夫は、アフリカ文学の研究を深く進めてきた。アフリカ文学の研究は、アフリカ社会の変化を理解するための重要な手がけとして位置づけられている。

アフリカの文学は、アフリカ社会の変化を理解するための重要な手がけとして位置づけられている。